

主要わい化剤のキク品質に及ぼす効果を確認しました

輪ギク栽培でわい化剤「キクエモン」は茎、花首の伸長抑制効果が認められ、「ビーナイン水溶剤80」と同様の実用性を確認しました。

輪ギクの栽培では草姿改善による品質向上のため、有効成分ダミノジットを含むわい化剤が多く利用されています。従来はダミノジット剤として、ビーナイン水溶剤80が広く使われていましたが、近年、キクエモンが販売され、その効果等についての問い合わせが少なくありません。そこで、花きグループではH23年度実証試験として「ダミノジット製剤がキク品質に及ぼす影響」として両剤を比較検討しました。

その結果、キクエモン区はビーナイン区より茎長、花首長とも短くなり、切り花重、調整重は重くなりました(第1,2表、写真1)。また、両剤とも葉害は認められず、花径、花重他花器に与える品質はほぼ同等でした(第3表、写真2)。以上のことから、キクエモンはビーナイン水溶剤80とともに実用性があると評価しました。

なお、両剤とも平成23年12月14日付けで施設栽培で使用するよう登録変更されました。

※輪ギク：流通などの分類で1本の茎に1輪の花を咲かせる栽培方法で育てたキク。

※わい化剤：植物成長調整剤の一つで植物の成長を抑制して草姿を改善する薬剤の総称。

<試験方法>

- 1) 供試品種 ‘神馬2号’
- 2) 試験区構成 ビーナイン水溶剤80処理区 キクエモン処理区 1区20本1区制
- 3) 耕種概要
 植栽様式：畝幅60cm、株間10cm、4条植え、無摘心栽培
 栽培概要：挿し芽8/19、定植9/2、電照9/2～10/22、再電照11/4～11/8
 温度管理：消灯から14℃、破蕾後から16℃に加温。
 生長調整剤処理：11/9 1500倍希釈液を8L/a茎葉散布。
 11/19 1000倍希釈液を8L/a茎葉散布。
 施肥：基肥 1a当たり成分量 N：2.4kg P：1.8kg K：2.4kg



写真1 満開時の草姿 (左:ビーナイン 右:キクエモン) 写真2 満開時の花型 (左:ビーナイン 右:キクエモン)

第1表:各区の切り花品質(1)

試験区	茎長 (cm)	節数 (節)	切り花重 (g)	調整重 (g)	調整葉数 (枚)	花首長 (mm)	茎径 (mm)	花首径 (mm)	葉長	
									5cm	30cm
ビーナイン	103.8	52.9	91.3	68.2	29.0	19.3	6.1	4.1	9.6	13.6
キクエモン	95.5	51.9	96.7	80.1	31.6	17.2	6.5	4.8	9.9	13.4

注)調整重は85cm(下葉15cm除去)に調整したものを、茎径は花器から40cmの位置で測定した。

第2表:各区の切花品質(2)

試験区	葉長(cm)					茎長(mm) 5枚目まで
	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚	
ビーナイン	61	81	94	96	95	68.4
キクエモン	54	82	95	95	100	55.1

第3表:各区の花器品質

試験区	花径 (cm)	花重 (g)	花弁数		
			さし弁	管弁	管状花
ビーナイン	146	35.8	267.9	4.6	6.6
キクエモン	145	34.2	279.0	3.1	8.4

注)花径、花重は圃場で満開になったものを測定。

問い合わせ先:栽培研究部 花きグループ(担当:川村 通、小早川洋美)

TEL 0853-23-7189

E_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp